

せわやがトカラ情報

十島村教育委員会
〒892-0822 鹿児島市泉町 13 番 13 号
TEL 099-227-9771

南北 160 km 「心をつなぎ気概に満ちた」十島の教育

10 月…運動会に参加して 十島村教育長 有村孝一

9 月から 10 月にかけては、各島において運動会が開催されました。今年、9 月 20 日に悪石島、10 月 3 日に平島、10 月 10 日に口之島文化祭、11 日に口之島運動会と見させていただきました。どの島も島外からの訪問者が多く、大変な賑わいをみせていました。



全校児童生徒が 8 名の悪石島では、当日遠くは静岡県からの帰省者があつたりで、70 名の島民に対して 100 人を超える人たちが運動会を盛り上げていました。子どもたちも長距離走、応援合戦、悪石島ソーランなどに力いっぱい頑張っていました。

平島では、会場の健康広場が島民の皆さんの協力で見事なまでにきれいに仕上げられていました。その中



で、背中に「平島」と書かれたそろいのユニホームで、7 名の児童生徒が力の限りの演技を見せてくれました。

応援合戦などは、教師も一緒に盛り上げていました。また、校区の種目も縄な

いや金輪回しなどユニークなものもあり、終日笑い声にあふれていました。

口之島では前日の 10 日が文化祭でしたが、それに先立ち、タモトユリ会から校旗の贈呈が行われました。一昨年は優勝旗も寄贈していただきました。

運動会は、この真新しい校旗と優勝旗を先頭に入場行進が行われ、学年に応じてハンディをつけたかけっこやエイサーなどに頑張りました。島外からの児童生徒も赤白に分かれて、島の子たちと一緒に盛り上げていました。それにもまして 29 名のタモトユリ会の方々が一層賑やかにしてくれました。



文化祭では、日頃学習したことを生かした出し物や教師と子どもが一緒になった合奏などがあり、大変見応えがありました。

どの島でも、参加した皆さんの心が一つになった素晴らしい運動会でした。きっといい思い出ができたことと思います。また、未就学児がきちんとして競技に

いたのが印象的でした。10 月 17 日には、「中之島ほしのこ園」という未就学児の保育施設が開園しました。このような施設が今後他島でも開設されていくと、未就学児の参加もより活発になり、さらに充実した運動会になるのではないかと期待します。

「夢を見るから、人生は輝く」と作曲家モーツァルトは言っています。十島の子どもたちの成長に、私も夢を馳せたいと思います。

鹿大演劇部、十島村デビュー

今年初めて、鹿児島大学演劇部の「テアトル火山団」がファミリー劇場で小宝島公演を行いました。7 月から何回ものメールのやりとりや打合せをしながら、や



っと本番の 10 月 3 日（土）の実現となりました。大きな道具運搬もあり、ランプ制限があれば降ろせないという心配をしながらの実現でした。民宿で昼食を済ませた 6

人のメンバーは昼から準備にかかり、午後 5 時の公演を迎えました。

大学生らしい若々しい躍動感あふれる演技、体育館中に響き渡る大きな声、客席の後からでも良く分かるオーバーアクション、本格的な照明、音響設備などに 60 人近くの観客は圧倒されていました。

演劇が終わると、学生のみなさんの熱演に満場の拍手が送られました。昨年に続き、今年も大成功の小宝島ファミリー劇場となりました。

昨年も「みやまコンセール」が初めて十島村公演を行い、ファミリー劇場に新風を巻き起こしました。その影響で今年、平島のファミリー劇場に「みやまコンセール」が来ました。今年、「テアトル火山団」の新風が吹いたようです。今後、十島村のファミリー劇場に招く芸能団体をさらに幅広く求め、さらに島民の豊かな情操を養い、地域文化の高揚に資するよう取り組んでいきたいと思っています。

シリーズ——山海留学生として
十島村の学校で生活して
平島中学校諏訪之瀬島分校 2 年 徳田 幸作

僕は、この諏訪之瀬島に山海留学生として、中学 1 年生から来ています。この島に来て良かったこと

は、釣りをすることができることです。この前、自治会であった大物釣り大会では 16 kg を超えるマグロを釣ることができてとてもうれしかったです。

また、この島の良いところはみんなが優しいところです。

ところで、今、僕は生徒会長を任されています。会長としてしっかりと声をかけて、みんなを引っ張っていききたいと思います。

また、あいさつと返事ができる学校にしたいです。だから、みんなの手本となれるように苦手なことにも挑戦していきます。

宝島小・中学校の運動会

9 月 20 日（日）快晴の下、児童生徒と地域が一体となった運動会が開催されました。

中でもプログラム「力を合わせて」は、親子で二人

三脚をして、その後おんぶかだっこをして、アメ

食い競争をするという忙しい競技。親子でおんぶ

やだっこをする場面では、子どもが上になったり、

親が上になったりして、

普段は見られない光景に

拍手が送られ、保護者や里親さんからも「なかなか

いい機会だからよかった。」という声が聞かれた。子ども

の中には、保護者や里親さんをおんぶして力強く走る

姿やどうにかこうにかおんぶして走っている姿もあり、ほほえましい雰囲気だった



輝 作品展・コンクール入賞 おめでとう

平成 27 年度鹿児島県学校環境緑化コンクール
優良賞…中之島小・中学校

第 63 回学校新聞コンクール
中学校の部 第二席…口之島中学校「タモトユリ」

中学校の部 佳作…宝島中学校「メイメイ」

第 63 回鹿児島県理科に関する研究記録展

入選…永吉美悠（口之島中 1 年）「カビを防ぐには」

菅野美沙希（諏訪之瀬島分校小 5 年）「洗濯

ものの乾くスピード」

鹿児島県「小さな親切」作文募集

入選…久永太陽（悪石島小 1 年）

西えほん（悪石島小 5 年）

人権に関する強調週間・月間

☆11 月…児童虐待防止推進月間

☆11/16～12/15…鹿児島県レッドリボン月間

12 月 1 日は「世界エイズデー」

1988 年に、エイズのまん延防止と患者に対する差別・偏見の解消を目的に WHO（世界保健機構）が 1988 年に制定したものです。

☆11/25～12/1…犯罪被害者週間

「トカラの伝統芸能祭」は 列島マラソン大会と同時開催

11 月 14 日フェリーとしま下り便の宝島港と 15 日 上り便の各島港で「トカラの伝統芸能祭」が開催されます。

- 宝島港…スチールドラム演奏
- 小宝島港…小宝魂、ソーラン節
- 悪石島…ソーラン
- 平島…平島太鼓
- 諏訪之瀬島…吹奏楽演奏
- 中之島…十島のうた、中之島太鼓
- 口之島…エイサー

十島村の小・中学校からのメッセージ

平島小・中学校教頭 中村幸一郎

平坦な道の少ない平島に赴任して、「光陰矢のごとし」、あっという間に 1 年半が過ぎました。離島赴任も 2 回目ということもあり、少し油断していたのかもしれない。

「自分でできることは自分でやる。自分でできないことはみんなでやる、困ったときはお互い様。」島での生活がスタートしたときに感じた島民の皆さんの姿勢です。子どもの方が先に順応しました。地域の方に釣りを教わったり、バードウォッチングで来島された方に話しかけたり、今まで体験しなかったことに挑戦するようになりました。

他の子どもたちも地域行事が多い中で、島民の方々に教えられ、鍛えられ、育てられています。学校教育も地域の方々に支えていただいています。学校は緊急時の避難施設も兼ねており、集落の一番高い所に位置しています。そのため、高齢者や地域の方々に来校していただくたびに心苦しく、また大変ありがたく思います。日々の生活の中で忙しく過ごされていても、学校行事や奉仕作業、授業参観など、本当によく学校に来ていただいています。「地域があつての学校、学校あつての地域」、よく聞く言葉です。



さて、学校は地域の方々に何を還元できるのか。何か地域を支える方法はないか。今年、学校から情報を発信し、元気を発信し、地域をそして平島をもり立てようとしています。大きな事はなかなかできませんが、小さな元気の発信を積み重ね、高齢者の皆さんや学校を支えてくださる地域の皆さんと共に、元気ある平島にしていけたらいいなと、最近特に思います。

教師仲間である「あなた」への 私からのメッセージ

離島での学校教育に学ぶべき点も多くあり、日々実感されていることでしょう。子どもたちのことはもちろん、地域の方々が子どもたちを見て話すあの笑顔も大切にしたいです。